

マテリアリティ(重要課題)

当社グループは、「一人でも多くの方に笑顔を取りもどしていただくために、優れた医薬品の提供を通じて患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上につとめる。」という企業理念の実践を通して社会に価値を提供し、持続可能な社会の実現に資することが、当社グループの持続的な成長につながるものと考えています。そのための課題や取り組みを明らかにするため、今後の当社グループの価値創造に関わるマテリアリティ(重要課題)を特定しました。

経営理念	マテリアリティ	目指すべき姿	主な取り組み	KPI		関連するSDGs	実績値			
				指標	水準		2022年度	2023年度		
事業に関するマテリアリティ	患者さんのよるこび	1 アンメット メディカルニーズ を満たす画期的 新薬の創出	● 研究開発への積極的投資による自社創業基盤の強化 ● 開発早期における外部リソースの活用 ● これまで当社が取り組んでいないモダリティなど、新規分野へのチャレンジ ● パイプライン拡充のための開発品導入	P1以降の品目数	常時6品目以上	3 健康の増進 9 産業とイノベーションの振興 17 公正な社会と持続可能な開発	8品目	8品目		
			● 既存海外展開品の未上市国・地域への拡大 ● 新規海外展開品の開発と導入 ● 導入の際にグローバルの権利を取得	海外展開品の品目数	常時3~5品目		2品目 (フィブラスト、 クレナフィン)	2品目 (フィブラスト、 クレナフィン)		
			● 海外で使用されている医薬品および海外で開発が先行する医薬品の国内での開発 ● 疾患啓発活動の推進	ドラッグロス・ドラッグラグ解消につながる国内での医薬品の開発数 疾患啓発のための市民公開講座等の開催件数	(実績値の開示) (実績値の開示)		3品目 (KAR、セラデルパー、 テルダセルフォント)	3品目 (KAR、セラデルパー、 テルダセルフォント)		
			● 製造設備への継続的な投資による患者さんファーストのための生産・品質保証体制強化 ● 取引先を含めたサプライチェーン体制の強化	供給停止件数 製品回収件数	0件/年 0件/年		3件	3件		
			● 販売情報提供活動の定期的な審査・監督 ● 「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」に則った適切な情報提供体制の強化	審査・監督委員会の実施回数	4回/年		4回	4回		
事業に関するマテリアリティ	患者さんのよるこび	2 医療/医薬品へのアクセス拡大	● リアルとデジタルの融合により医療関係者のニーズを充足させる情報提供活動を推進	情報提供活動に対する医療関係者からの評価(重点診療科)	(実績値の開示)	皮膚科: 2位 整形外科: 5位 (※1)	皮膚科: 5位 整形外科: 7位 (※2)			
			● 微生物由来の天然物質農業であるポリオキシンの普及による持続可能な農業への貢献 ● 農業登録国の拡大 ● 有機農業で使用可能な資材としての認証取得 ● 作物残留基準値の設定免除の取得	ポリオキシンの上市国・地域数 ポリオキシンの有機農業資材認証の取得国・地域数および適用作物数	(実績値の開示) (実績値の開示)	20カ国・地域	20カ国・地域			
			● Scope1,2の削減(省エネ・再エネ・創エネの導入等) ● 省エネ活動の推進 ● 省エネ設備・高効率機器の導入 ● 再エネの導入(メニュー、PPA) ● 創エネの導入(太陽光、自家発電等) ● 証書・クレジットによるオフセット	CO ₂ 排出量(Scope1,2)	2030年までに2016年度比51%削減(2050年までにネットゼロ)	21,667 t-CO ₂	(算定中)			
			● CO ₂ フリー電気の段階的導入	CO ₂ フリー電気の割合	2030年までに80%以上	5%	20%			
			● 廃棄物総発生量の削減 ● 再資源化率の向上および埋立処分率の低減	廃棄物発生量 再資源化率 最終埋立処分率	(実績値の開示) 90%以上 5%以内	661.6 t 95.6%	980.3 t 97.1%			
事業に関するマテリアリティ	社会のよるこび	6 環境経営の推進	● 環境負荷の低減 ● 原料変更 ● 設備更新 ● 製造工程改善 ● 製品設計など	第一種指定化学物質(PRTR)の取扱量 揮発性有機化合物(VOC)対象物質の取扱量 排水の総BOD量	(実績値の開示) (実績値の開示) (実績値の開示)	23.3 t 139.6 t 3.55 t	23.4 t 151.4 t 2.97 t			
			● 水の効率的な使用による水使用量の削減 ● 再利用水の活用 ● 地下水汲み上げ量の適正化	水使用量	2030年までに2016年度比10%削減	2,808千m ³	2,959千m ³			
			● 取締役会の実効性を確保するための実効性評価の実施	取締役会の実効性評価回数	1回/年	1回	1回			
			● コーポレートガバナンス・コード遵守を通じたコーポレート・ガバナンスの強化	コーポレートガバナンス・コードの遵守率	100%	97.6%	98.8%			
			● コンプライアンス研修の実施 ● 階層別研修 ● 部署別研修など	コンプライアンス研修(ハラスメント研修を含む)の受講率	100%	—	—			
事業に関するマテリアリティ	社会のよるこび	7 コーポレート・ガバナンスの強化	● コンプライアンス・ホットラインの周知 ● コンプライアンス・ホットラインの認知度アンケートの実施 ● コンプライアンス・ホットライン利用実績の社内公開など	コンプライアンス・ホットライン(内部通報制度)の認知度向上	100%	—	—			
			● 違反状況の把握活動	重大なコンプライアンス違反の発生件数	0件/年	0件	0件			
			● サプライヤーに対するアンケート実施に向けた社内体制の整備 ● サステナブル調達方針およびアンケート実施結果に基づきサプライヤーと対話を行い、サステナブルな調達を推進	サプライヤーに対するアンケートの実施	—	—	—			
			● 1on1ミーティングの充実 ● 情報開示・コーポレートサイトの充実	投資家との面談回数	(実績値の開示)	IR面談: 14件 SR面談: 5件	IR面談: 34件 SR面談: 9件			
			事業に関するマテリアリティ	患者さんのよるこび	8 コンプライアンスの推進	● 社内における人権デューデリジェンスの実施	人権に関する研修の実施	—	—	ビジネスと人権に特化した研修: 1件 その他: コンプライアンス通信にて周知
● サプライヤーなどに対する人権デューデリジェンスの実施	—	—				—	—			
● コンプライアンス・ホットラインの機能の強化	—	—				—	—			
事業に関するマテリアリティ	社員のよるこび	9 サステナビリティの実現に向けたステークホルダーとの関係強化				● ワーク&ライフバランスの推進 ● ダイバーシティ&インクルージョン ● 育児・介護・傷病等の両立支援施策の充実 ● 的確な人事評価と適性に応じた人材配置によるモチベーションの向上 ● 健康経営の推進	エンゲージメントサーベイの素点平均・肯定的回答率	(実績値の開示)	—	<従業員個人の仕事に対する自発的行動、働きがい> 素点平均: 2.7 肯定的回答率: 64.5% <会社への帰属意識> 素点平均: 2.7 肯定的回答率: 66.7% (※3)
						● 10n1ミーティングの充実 ● 情報開示・コーポレートサイトの充実	人事部主催研修延べ時間	(実績値の開示)	2,978時間	(算定中)
			● サプライヤーに対するアンケートの実施 ● 人権方針およびアンケート実施結果に基づくサプライヤーとの対話	—	—	—	—			
			● 年次有給休暇取得率	70%(2025年度)	55.1%	58.6%				
			● 育児休業取得日数・取得率	女性100% 男性80% 9日間以上 (2025年度)	女性: 100% 男性: 67.3% 7.5日	女性: 100% 男性: 83.3% 11.5日				
事業に関するマテリアリティ	社員のよるこび	10 人権の尊重	● 女性管理職比率	7%以上 (2025年度)	3.8%	4.1%				
			● 働きがいのある職場の実現	—	—	—				
			● 10n1ミーティングの充実 ● 情報開示・コーポレートサイトの充実	人事部主催研修延べ時間	(実績値の開示)	2,978時間	(算定中)			
			● 年次有給休暇取得率	70%(2025年度)	55.1%	58.6%				
			● 育児休業取得日数・取得率	女性100% 男性80% 9日間以上 (2025年度)	女性: 100% 男性: 67.3% 7.5日	女性: 100% 男性: 83.3% 11.5日				
事業に関するマテリアリティ	社員のよるこび	11 働きがいのある職場の実現	● 10n1ミーティングの充実 ● 情報開示・コーポレートサイトの充実	人事部主催研修延べ時間	(実績値の開示)	2,978時間	(算定中)			
			● 年次有給休暇取得率	70%(2025年度)	55.1%	58.6%				
			● 育児休業取得日数・取得率	女性100% 男性80% 9日間以上 (2025年度)	女性: 100% 男性: 67.3% 7.5日	女性: 100% 男性: 83.3% 11.5日				
			● 女性管理職比率	7%以上 (2025年度)	3.8%	4.1%				
			● 働きがいのある職場の実現	—	—	—				
事業に関するマテリアリティ	社員のよるこび	12 人財育成の強化	● ワーク&ライフバランスの推進 ● ダイバーシティ&インクルージョン ● 育児・介護・傷病等の両立支援施策の充実 ● 的確な人事評価と適性に応じた人材配置によるモチベーションの向上 ● 健康経営の推進	エンゲージメントサーベイの素点平均・肯定的回答率	(実績値の開示)	—	<従業員個人の仕事に対する自発的行動、働きがい> 素点平均: 2.7 肯定的回答率: 64.5% <会社への帰属意識> 素点平均: 2.7 肯定的回答率: 66.7% (※3)			
			● 10n1ミーティングの充実 ● 情報開示・コーポレートサイトの充実	人事部主催研修延べ時間	(実績値の開示)	2,978時間	(算定中)			
			● サプライヤーなどに対する人権デューデリジェンスの実施	—	—	—	—			
			● 年次有給休暇取得率	70%(2025年度)	55.1%	58.6%				
			● 育児休業取得日数・取得率	女性100% 男性80% 9日間以上 (2025年度)	女性: 100% 男性: 67.3% 7.5日	女性: 100% 男性: 83.3% 11.5日				

※1 「医師が求めるMR調査2023年版(データ編)」Monthlyミクス2023年2月号、P.33-34
 ※2 「医師が求めるMR調査2024年版(データ編)」Monthlyミクス2024年2月号、P.37
 ※3 回答選択数4つを「とても当てはまる」=4点、「まあまあ当てはまる」=3点、「あまり当てはまらない」=2点、「全く当てはまらない」=1点として算出
 「素点平均」=回答の平均点、「肯定的回答率」=4点または3点を回答した人の割合